脱炭素で暮らしの豊かさ実践事業

つながるえどがわ未来会議 第１回ふりかえり

７月４日に第１回ワークショップを行いました。今回は、区内在住の１１歳以上の方から無作為抽出にて１,０００名へワークショップのご案内をお送りしました。
複数の中・高生の参加もあり、活発な議論が行われました。

令和8年度におけるワークショップの愛称が決定しました

今年度の愛称を６月７日から公式LINEにて投票いただきました。
数多くの投票をいただき、ありがとうございました。

愛称案	A	B	C
	えどがわまるごと未来会議	つながるえどがわ未来会議	わたしのえどがわ発見アクション

決定！

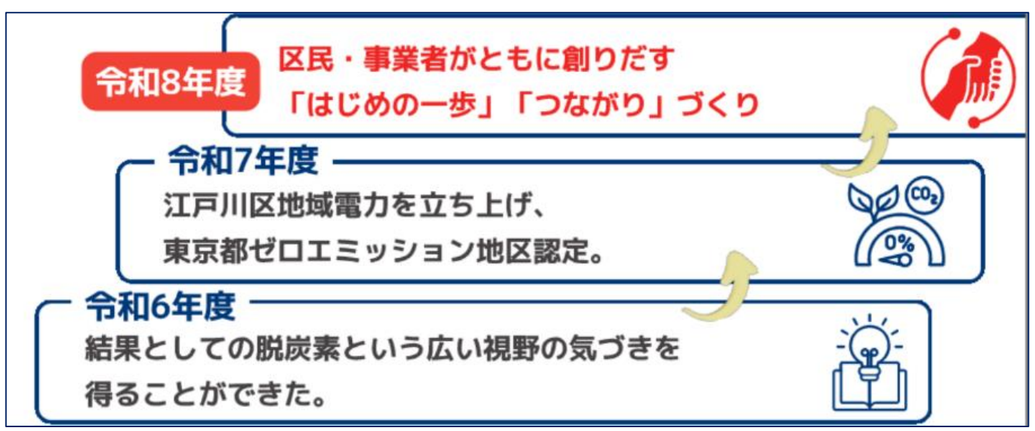
江戸川区委託事業　脱炭素で暮らしの豊かさ実践事業

つながる えどがわ 未来会議

事業の考え方　行動につなげる実践を大事にしていきます。
暮らしがラクになる工夫を、そのまま地球にやさしい選択（脱炭素）へつなげることを目指しています。

WHY？

01 | なぜ？　今「脱炭素」なのか
今年度の目的



令和8年7月発行

02 | なにを？　暮らしのなかの社会課題
私たちが日々の暮らしで向き合う5つの課題

WHAT？

脱炭素×〇〇【暮らしが豊かになる5つの項目】

仕事、住まい、防災、エネルギー、地域のつながりなど、暮らしに関わるテーマから未来を考えていきます。分類すると実践しやすくなります。

小さな行動が、大きな未来に。

対談「もし今〇〇がなくなったら」

～物価高騰のいま、交通インフラから暮らしの豊かさを考えよう～

NPO法人 足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ　山崎事務局長

なくなったら困るものとして、電気・インフラを考えた。今は電力会社も自分で選ぶ時代。（太陽光発電など）再生可能エネルギーで発電した電気を使うと環境に優しい電気を使ったことになる。

当社は、「顔の見える電力」をモットー、野菜などと同じく電気も作っている人がいる。どんなところで作られた電気か知ることも重要だと考えている。

株式会社UPDATER（みんな電力）
利岡　憲マネージャー

災害対策として、小型（20ワット）の太陽光パネルを持っているが、4時間でスマートフォン2台充電できる。もしもの時の備えにつながる。

【ファシリテーター】リノベーションコーディネーター協会　瀧澤理事長

江戸川区では、再エネ電力切り替えの補助金を出している。会場にも複数の参加者が再エネ電気を使っている。各社の方針に共感して変えた人が多い。

なくなったら困るのは、家族・家。人とのつながりも大切。近所付き合いを始めたことで急な発病に協力してもらえ、助かった。

グループワーク「なくなったら困るもの」

1－1．グループワークで出た意見

もし突然電気が使えなくなったらどうなるのかを描いた映画
「サバイバルファミリー」を題材とし、グループごとに話し合いました。

あなたの暮らしに欠かせないものは何ですか？

スイソマン

生存に関わるもの（短期的な視点）

- 水や自然がなければ何も創造できない
- 生命維持に必要な水が一番大事
- 太陽や夜がないと困る

生活を豊かにするもの（長期的な視点）

- 生活を豊かにするための電気（通信）やインフラ
- 電気の大切さと共になくなった時の恐ろしさも感じた。
- 小さな太陽光発電が災害時の安心につながる。
- いまあるものがずっとあるとは限らない。だからこそ、いまあるものを大事にしていくべきだ
- 「石油をなくしていきたい」という意見と「石油がなくなると困る」という意見が出ていた。異なる意見を自由に出し合える場も大事。

人間関係・コミュニティ（目に見えないもの）

- 家族（家族とのコミュニケーション）、地域とのつながり

すべて「暮らしの豊かさ」につながる大切な要素です。
脱炭素が暮らしを良くする手段として活用できます。

グループワークの様子

グループワークの様子

江戸川区「脱炭素で暮らしの豊かさ実践事業」

豊かな暮らしにつながる
あなたの意見が聞きたい！

令和8年度　スケジュール（案）

6月	第1回 7月	第2回 8月	第3回 10月	第4回 12月	第5回 2月	第6回 3月
環境フェア セミナー	区民向け WS	事業者向け WS	まちあるき イベント	発展 勉強会	大規模 イベント	シェア会 まとめ

脱炭素で暮らしの豊かさ実践事業
「つながるえどがわ未来会議」
詳細は、随時ホームページをご覧ください→

このワードで検索！

脱炭素で暮らしの豊かさ実践事業

○問い合わせ
江戸川区環境部気候変動適応計画課
ＴＥＬ　０３－５６６２－０６９４